

2013（平成25）年度事業報告

法人の名称 特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

1 事業活動・成果報告

神奈川県教育委員会より教員の派遣体験研修の受け入れを行い、県立保土ヶ谷高等学校の川亦伸治教諭が当法人において青少年支援活動に携わった。学校と民間の支援機関が相互理解を深め、それぞれの特性において、多様な支援を行うことの重要性を確認した。

ひきこもりの若者の社会参加を実現するために、「シェアハウス運営事業」を横須賀市保健所健康づくり課、こども青少年支援課と協働し行った。3名の若者が利用し、共同生活を体験した。

生活保護受給世帯の子ども、若者の支援のために横須賀市生活福祉課より委託を受けた「社会的居場所づくり事業」は3年目を迎えた。中学三年生の生徒16名は全員高校進学した。貧困の世代間連鎖の解消に向けた取組みを今後も継続していく。

横須賀市市民生活課「よこすか元気ファンド」を団体の基盤作りに活用した。

神奈川県立青少年センター青少年サポート課のフリースペース等事業費補助金を活用し、平日の夜間相談業務を行った。昼間に相談しづらい対象者にとって相談しやすい環境を整えた。

7月に当法人理事長の島田が上町商盛會商店街振興組合の理事に就任し、地域との関係をより強めるとともに、相互理解を一層深める契機になった。商店街のイベントも桜まつり、灯ろうまつり、ハロウィンと盛り沢山であり、当法人を利用する子ども・若者にとっても社会参加の機会となっている。

11月に地域との協働を評価され、かながわ子ども・子育て支援大賞特別賞を受賞、神奈川県知事から表彰された。2月にかながわNPO映像祭において制作した動画が優秀賞を受賞した。

その他、認定NPO法人制度の適用を目指し、キャンペーンを行った。110件、556,000円の寄附が集まり、全額を活動に充当した。

2 各事業報告

(1) 学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

- ・内容 不登校の子ども及びひきこもりの若者の居場所作りを進めるフリースペース事業。日常の活動に加え、次記の活動を行った。散歩、菓子作り、釣り、キャッチボール、scratch（プログラミング基礎）、プール、果物狩り、お泊り会、荒崎ハイキング、クリスマス会、お別れ会
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース他
- ・従事者員数 4名（島田、石井、川亦、斉藤）
- ・対象者 不登校の児童・生徒とひきこもりの若者21名 延べ575名
- ・支出額 272,622円

(2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として、座学と実践を行う事業。また、若者同士のコミュニケーションを円滑にするための講座も行った。ラッピング、DST（デジタルストーリーテリング）、商業簿記の講座も実施した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者員数 4名（萩原、石川隆、高橋、須摩）
- ・対象者 ひきこもりの若者15名 延べ592名
- ・支出額 408,934円

イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 不登校やひきこもりの子どもを持つ親が集まり、相互に助言・相談を行う自助的な交流を支援する事業。
- ・日時 通年（毎月第2日曜日）

- ・場所 当法人フリースペース・harucafe
- ・従事者員数 2名（島田、石井）
- ・対象者 正会員及び教育、子ども等についてさまざまな悩みをもつ方々 4名
延べ16名
- ・支出額 60,000円

(3) 子ども・若者の学習の支援活動

ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動

- ・内容 不登校、発達障害、生活保護受給世帯および学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供する事業。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験、高卒認定試験対策に対応した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人学習スペース
- ・従事者員数 10名（島田、石井、川亦ほか非常勤職員7名）
- ・対象者 学習に不安を抱いている児童・生徒・若者33名 延べ990名
- ・支出額 3,715,389円

イ) 不登校・進路相談会への参加

- ・内容 神奈川県教育委員会や横須賀市教育委員会が主催する不登校の進路相談会に参加した。
- ・日時 6/29、10/12、2/1
- ・場所 横須賀市総合福祉会館、神奈川県立青少年センター、大和市生涯学習センター
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民550名
- ・支出額 60,000円

(4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供

- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティア・プロボノの受け入れ事業。当法人に直接訪れるボランティアだけでなく、神奈川県立青少年センターや横須賀市立市民活動サポートセンターと連携し、ボランティアの受け入れ、交流を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店、商店街ほか
- ・従事者員数 3名（石井・石川隆・川亦）
- ・対象者 正会員及び一般市民58名 延べ541名
- ・支出額 60,000円

(5) 教育や不登校・ひきこもり等に関する相談及び情報提供

- ・内容 子どもの成長・発達、若者のひきこもり等に関して、来所及び訪問による相談・カウンセリングを行う事業。本人と家族の安定・安心を深め、社会参加への道筋を助言する。本年度は夜間相談も実施した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人相談スペース
- ・従事者員数 3名（島田、石井、川亦）
- ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みをもつ人々224名 延べ435名
- ・支出額 868,156円

(6) 他の市民活動団体との交流活動

- ・内容 山形県、神奈川県及び横須賀市等のNPOとの交流を行った。神奈川県立青少年センター別館では県内20団体とフリーマーケットを開催。当法人内フリースペース等において湘南市民メディアネットワークの映像作りワークショップに子ども・若者が参加した。山形県新農業人ネットワークとは毎月交流を行い、野菜等の販売、宅配を行なった。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人内、横須賀市内及び神奈川県内
- ・従事者員数 6名（島田、石井、石川隆、萩原、伊藤、川亦）
- ・対象者 NPO法人与一般市民250名
- ・支出額 238,545円

(7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営

- ・内容 不登校やひきこもり等子ども・若者に関する社会的課題に対する理解啓発のため、カフェカルチャーと称し少人数を対象に講演等を行った。7月、横須賀商工会議所主催のまちゼミに参加。ひきこもりやいじめに関する講演会を共催した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafeほか
- ・従事者員数 3名（島田、石井、川亦）
- ・対象者 正会員及び一般市民150名
- ・支出額 102,233円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

ア) 就労支援運営事業

- ・内容 ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場として、はるかぜ書店、harucafe及び地域お助けサービスの運営を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafe、上町商盛会商店街、横須賀市内
- ・従事者員数 6名（島田、石井、石川隆、萩原、伊藤、川亦）
- ・対象者 正会員及び一般市民15名 延べ592名
- ・支出額 1,499,423円

イ) 共同生活研修事業

- ・内容 ひきこもりの若者が共同生活を行い、生活の技術を学び自立に向けた取組みを行うシェアハウスを運営した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人シェアハウスかわい荘
- ・従事者員数 5名（島田、石井、石川隆、萩原、伊藤）
- ・対象者 正会員3名延べ5名
- ・支出額 4,229,000円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容 上町商店街の活性化を図るため、商店街事業の一端を担う（桜まつり、ゴーヤグリーンカーテン・灯ろうまつり・収穫祭・よこすかハロウィンフェスティバル・よこすか産業まつり）。商店街次世代リーダー養成講座（U.S.N.）においては横須賀市内の商店街関係者と交流を図り、横須賀市域の商店街の活性化の方策を練る。
- ・日時 4/6桜まつり・7/12,13灯ろうまつり・10/28～30収穫祭・10/26よこすかハロウィンフェスティバル・11/9～10よこすか産業まつり、通年（U.S.N.、上町イベント実行委員会）
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店、上町商盛会商店街ほか
- ・従事者員数 6名（島田、石井、伊藤、石川隆、萩原、川亦）
- ・対象者 正会員及び一般市民18,000名
- ・支出額 54,078円